

2 緊急雇用対策事業等の取組状況について

I	県内雇用情勢について	1
II	雇用創出基金事業の進捗状況等について	
	・ 雇用創出基金事業 県・市町等取組状況 (平成 21～23 年度)	3
	・ 雇用創出基金事業 市町等取組状況	4
	・ 平成 22 年度 雇用創出基金事業の雇用進捗状況等について	6
III	新規学卒者等の就職対策について	18
	(参考) 高校生の就職対策	23
IV	障がい者の雇用対策について	26

平成 23 年 3 月 8 日
生活・文化部

I. 県内雇用情勢について

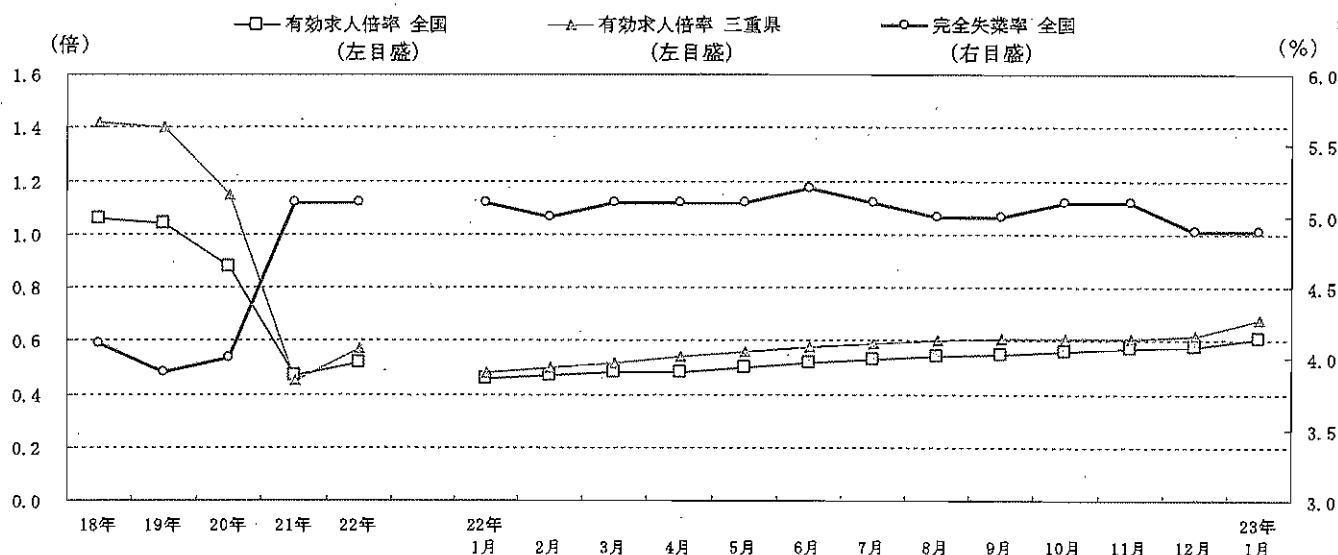
平成 23 年 3 月 勤労・雇用支援室

1. 平成 23 年 1 月の有効求人倍率

平成 23 年 1 月の有効求人倍率（季節調整値）は、0.68 倍となり、前月を 0.06 ポイント上回りました。

県内の雇用失業情勢は、持ち直しの動きが広がりつつあるが、依然として厳しい状況にあります。

なお、新規求人数（原数値）は 9,760 人（前年同月比 24.0%増）、有効求人数（原数値）は 23,956 人（前年同月比 27.1%増）、新規求職申込件数（原数値）は 8,503 件（前年同月比 9.7%減）、有効求職者数（原数値）は 31,649 人（前年同月比 10.4%減）となっています。



(注) 有効求人倍率（季節調整値）は、平成 23 年 1 月分の公表時に、新季節指数により、平成 22 年以前の数値を改訂している。なお、季節調整値法は、センサス局法Ⅱ（X-12-ARIMA）を使用している。

<有効求人倍率・完全失業率、完全失業者数の推移>

		19年	20年	21年	22年	22年												23年
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月				
有効求人倍率	全国	1.04	0.88	0.47	0.52	0.46	0.47	0.48	0.48	0.50	0.52	0.53	0.54	0.55	0.56	0.57	0.58	0.61
	三重	1.40	1.15	0.45	0.57	0.48	0.50	0.52	0.54	0.56	0.58	0.59	0.60	0.61	0.61	0.61	0.62	0.68
完全失業率	全国	3.9	4.0	5.1	5.1	5.1	5.0	5.1	5.1	5.1	5.2	5.1	5.0	5.0	5.1	5.1	4.9	4.9
	三重	2.5	2.9	4.3	4.1		4.4			4.1			4.2		3.5			
完全失業者数 (万)	全国	257	265	336	334	323	324	350	356	347	344	331	337	340	334	318	298	309
	三重																	

(注) 1. 完全失業率の年平均と完全失業者数は原数値

2. 三重県の完全失業率（年平均及び3ヶ月平均）は労働力調査の結果を集計したモデル推計値

拠：三重労働局発表資料、総務省「労働力調査」

※1 三重県の有効求人倍率は、2ヶ月連続で前月より上昇しました。県内の雇用失業情勢は持ち直しの動きが広がりつつあるが、依然として厳しい状況にあります。

※2 全国の有効求人倍率は、9ヶ月連続で前月より上昇しています。

※3 東海4県（愛知、岐阜、三重、静岡）の今月の有効求人倍率は0.70で、対前月0.05ポイント増となり、2ヶ月連続で前月を上回りました（参考）。

2. 地域別の雇用情勢（原数値）

ハローワーク別にみると、伊賀と鈴鹿が0.62倍、四日市が0.65倍と低くなっている一方、尾鷲が0.99倍と比較的高くなっています。なお、前年同月と比べると全ての地区で上昇しています。

ハローワーク別有効求人倍率（学卒除きパートを含む全数。原数値）

	県全体	桑名	四日市	鈴鹿	津	松阪	伊勢	伊賀	尾鷲	熊野
23年1月	0.76	0.80	0.65	0.62	0.90	0.87	0.82	0.62	0.99	0.86
22年12月	0.73	0.76	0.65	0.62	0.88	0.82	0.79	0.54	0.94	0.78
22年11月	0.68	0.70	0.62	0.57	0.84	0.80	0.72	0.51	0.90	0.73
22年10月	0.65	0.67	0.58	0.58	0.82	0.75	0.67	0.45	0.75	0.72
22年9月	0.64	0.66	0.58	0.55	0.84	0.74	0.65	0.45	0.80	0.59
22年8月	0.60	0.61	0.51	0.49	0.82	0.68	0.65	0.42	0.80	0.47
22年7月	0.55	0.56	0.45	0.45	0.77	0.65	0.57	0.38	0.68	0.46
22年6月	0.51	0.51	0.43	0.39	0.76	0.57	0.52	0.35	0.68	0.49
22年1月	0.53	0.50	0.51	0.36	0.65	0.67	0.64	0.39	0.83	0.48

拠：三重労働局

ハローワーク別有効求人数と有効求職者数

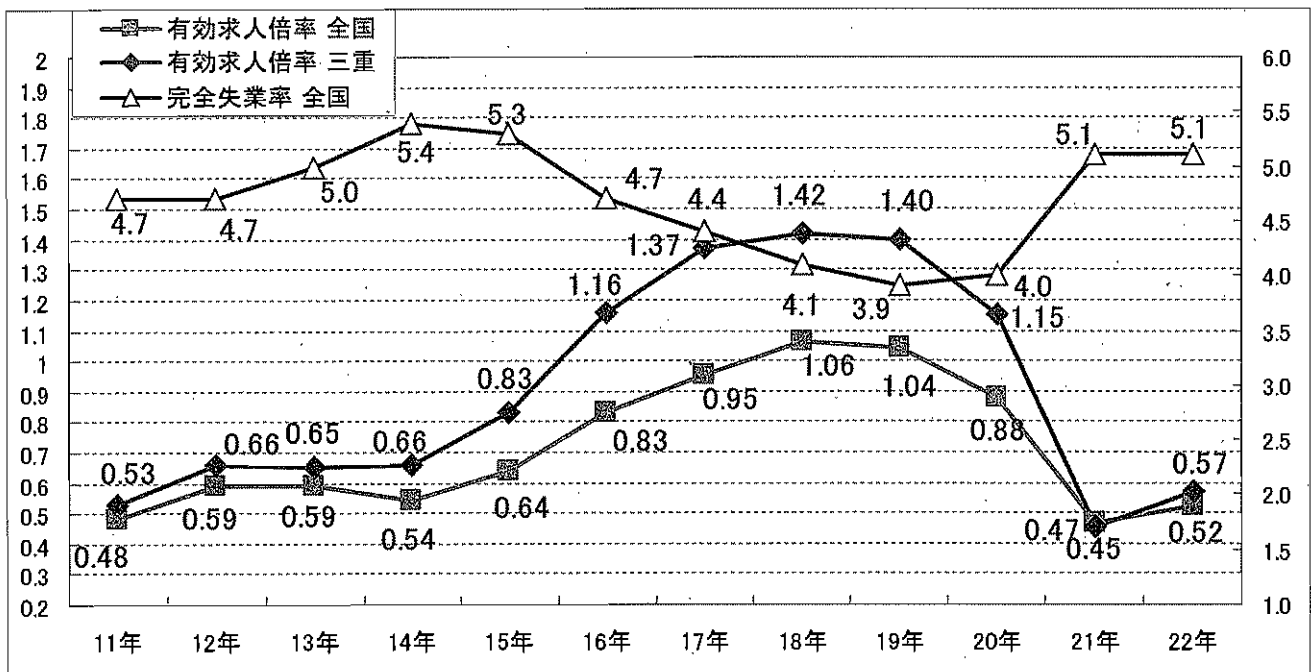
（学卒除きパートを含む全数。平成23年1月）

	県全体	桑名	四日市	鈴鹿	津	松阪	伊勢	伊賀	尾鷲	熊野	
有効求人数	23,956	2,842	4,286	2,668	4,419	3,522	3,064	2,190	499	466	
有効求職者数	31,649	3,540	6,556	4,275	4,914	4,040	3,715	3,560	505	544	
求人	当月	7,693	698	2,270	1,607	495	518	651	1,370	6	78
求職	前月	8,672	830	2,315	1,603	564	730	811	1,669	32	118
の差	前年同月	16,482	1,891	3,327	3,299	1,945	1,465	1,499	2,634	104	318

拠：三重労働局発表に基づく

【参 考】

有効求人倍率の推移（年平均値）



雇用創出基金事業 県・市町等取組状況（平成21～23年度）

ふるさと雇用再生特別基金事業

単位：件数、千円、人

	基金造成額 A	平成21年度			平成22年度			平成23年度			合計 B			残額 A-B=C	事業化率 C/A
		事業数	事業費	新規雇用	事業数	事業費	新規雇用	事業数	事業費	新規雇用	事業数	事業費	新規雇用		
県		46	448,172	174	66	950,457	213	61	1,156,368	253	173	2,554,997	640	県と市町の 事業費割合	58.8%
市町等		62	229,371	137	105	666,523	206	98	896,388	214	265	1,792,282	557		41.2%
一時金支給事業						1,800						1,800			
県事務費			1,929			2,015			2,752			6,696			
計	4,380,000	108	679,472	311	171	1,620,795	419	159	2,055,508	467	438	4,355,775	1,197	24,225	99.4%

緊急雇用創出事業

	基金造成額 A	平成21年度			平成22年度			平成23年度			合計 B			残額 A-B=C	事業化率 C/A
		事業数	事業費	新規雇用	事業数	事業費	新規雇用	事業数	事業費	新規雇用	事業数	事業費	新規雇用		
緊急雇用事業															
県		240	1,973,832	2,353	198	1,924,942	1,594	91	1,253,863	923	529	5,152,637	4,870		
市町等		303	950,593	1,336	402	2,040,641	2,068	293	1,898,262	1,545	998	4,889,496	4,949		
センター事業			61,826			63,333			57,625			182,784			
県事務費			168			101			269			538			
計	10,570,000	543	2,986,419	3,689	600	4,029,017	3,662	384	3,210,019	2,468	1,527	10,225,455	9,819	344,545	96.7%
重点分野雇用創出事業															
県					65	1,050,829	536	51	1,338,584	402	116	2,389,413	938		
市町等					42	209,865	124	62	470,947	225	104	680,812	349		
計	1,380,000				107	1,260,694	660	113	1,809,531	627	220	3,070,225	1,287	-1,690,225	222.5%
地域人材育成事業															
県	530,000				24	592,962	460	16	708,396	313	40	1,301,358	773	-823,620	255.4%
市町等					4	26,744	9	5	25,518	21	9	52,262	30		
県介護雇用プログラム	860,000				2	417,009	182	1	657,416	212	3	1,074,425	394	-305,124	135.5%
市町等介護雇用プログラム					5	31,990	15	4	58,709	25	9	90,699	40		
計	1,390,000				35	1,068,705	666	26	1,450,039	571	61	2,518,744	1,237	-1,128,744	181.2%
追加交付金 予備費	2,210,000													2,210,000	
追加交付金 補正予算	1,390,000													1,390,000	
重点分野雇用創出事業 計	6,370,000				142	2,329,399	1,326	139	3,259,570	1,198	281	5,588,969	2,524	781,031	87.7%
合計	16,940,000	543	2,986,419	3,689	742	6,358,416	4,988	523	6,469,589	3,666	1,808	15,814,424	12,343	1,125,576	93.4%
雇用創出事業分の計（センター事業及び県事務費除く）		240	1,973,832	2,353	289	3,985,742	2,772	159	3,958,259	1,850	688	9,917,833	6,975	県と市町の 事業費割合	63.4%
		303	950,593	1,336	453	2,309,240	2,216	364	2,453,436	1,816	1,120	5,713,269	5,368	36.6%	

※H23年度県分の介護雇用プログラムは、H22開始の介護福祉士コース2年目分（168,438千円 52人）及びH23開始の介護福祉士コース2級コースと介護福祉士コース1年目分。

介護雇用PGの介護福祉士コース H24見込額	221,522	基金残額	904,054
------------------------	---------	------	---------

雇用創出基金事業 合計

	基金造成額 A	平成21年度			平成22年度			平成23年度			合計			残額 A-B=C	事業化率 C/A
		事業数	事業費	新規雇用	事業数	事業費	新規雇用	事業数	事業費	新規雇用	事業数	事業費	新規雇用		
県		286	2,485,927	2,527	355	5,003,448	2,985	220	5,175,273	2,103	861	12,664,648	7,615	事業費割合62.8%	
市町等		365	1,179,964	1,473	558	2,975,763	2,422	462	3,349,824	2,030	1,385	7,505,551	5,925	事業費割合37.2%	
合計	21,320,000	651	3,665,891	4,000	913	7,979,211	5,407	682	8,525,097	4,133	2,246	20,170,199	13,540	1,149,801	94.6%

雇用創出基金事業
市町等取組状況

(千円、人)

	市町	ふるさと雇用再生特別基金事業							
		平成21年度 実績		平成22年度 計画		平成23年度 計画		合計	
		事業費	新規雇用	事業費	新規雇用	事業費	新規雇用	事業費	新規雇用
1	津市	26,545	17	55,258	16	59,538	15	141,341	48
2	四日市市	3,767	2	13,342	3	16,704	3	33,813	8
3	伊勢市	10,961	6	34,544	11	39,882	11	85,387	28
4	松阪市	7,320	4	27,835	9	31,552	8	66,707	21
5	桑名市	11,348	6	33,069	11	41,107	11	85,524	28
6	鈴鹿市	22,543	19	58,904	17	66,150	18	147,597	54
7	名張市	24,072	18	58,569	21	65,045	23	147,686	62
8	尾鷲市	7,811	3	26,667	7	37,800	8	72,278	18
9	亀山市	4,922	3	10,400	3	15,107	5	30,429	11
10	鳥羽市	2,042	2	64,344	15	83,215	16	149,601	33
11	熊野市	13,421	5	25,758	7	34,445	7	73,624	19
12	いなべ市	7,459	7	15,751	4	15,941	4	39,151	15
13	志摩市	16,634	11	58,319	21	97,780	23	172,733	55
14	伊賀市	19,233	10	44,243	18	85,033	18	148,509	46
15	木曾岬町								
16	東員町								
17	菰野町	17,410	6	29,129	6	29,489	6	76,028	18
18	朝日町								
19	川越町								
20	多気町								
21	明和町	3,297	3	6,282	3	6,683	3	16,262	9
22	大台町	4,346	3	8,652	3	9,745	3	22,743	9
23	玉城町	5,619	3	29,674	8	55,095	10	90,388	21
24	度会町	1,600	1	4,030	2	3,814	1	9,444	4
25	大紀町								
26	南伊勢町	840	1	7,203	5	27,326	5	35,369	11
27	紀北町	9,120	2	32,505	9	50,930	9	92,555	20
28	御浜町	7,857	3	11,678	4	13,640	4	33,175	11
29	紀宝町	1,204	2	10,367	3	10,367	3	21,938	8
30	四日市港管理組合								
31	松阪地区広域消防組合								
32	志摩広域消防組合								
33	紀勢地区広域消防組合								
	合計	229,371	137	666,523	206	896,388	214	1,792,282	557

雇用創出基金事業
市町等取組状況

(千円、人)

	市町	緊急雇用創出事業						合計	
		平成21年度 実績		平成22年度 計画		平成23年度 計画		事業費	新規雇用
		事業費	新規雇用	事業費	新規雇用	事業費	新規雇用		
1	津市	43,078	51	459,210	348	284,011	150	786,299	549
2	四日市市	136,828	228	131,163	140	197,594	136	465,585	504
3	伊勢市	33,347	45	92,199	112	73,842	77	199,388	234
4	松阪市	56,314	62	80,586	76	77,685	62	214,585	200
5	桑名市	54,166	63	109,719	97	140,051	95	303,936	255
6	鈴鹿市	86,317	202	122,071	164	149,630	159	358,018	525
7	名張市	64,030	107	151,100	154	88,092	81	303,222	342
8	尾鷲市	8,976	9	28,759	24	124,354	64	162,089	97
9	亀山市	22,295	37	46,801	52	47,302	53	116,398	142
10	鳥羽市	37,813	36	47,230	40	167,140	81	252,183	157
11	熊野市	27,701	31	84,286	65	104,636	69	216,623	165
12	いなべ市	14,845	11	32,307	40	27,570	18	74,722	69
13	志摩市	51,051	86	260,574	282	263,709	257	575,334	625
14	伊賀市	75,517	117	175,022	208	246,825	217	497,364	542
15	木曾岬町	7,024	19	19,882	24	31,057	12	57,963	55
16	東員町	7,896	7	8,004	8	9,621	6	25,521	21
17	菰野町	64,724	42	89,443	58	121,655	65	275,822	165
18	朝日町	5,775	3	6,195	5	8,985	8	20,955	16
19	川越町	4,033	3	4,787	7	5,193	6	14,013	16
20	多気町	4,480	5	42,034	24	4,337	3	50,851	32
21	明和町	17,202	26	90,778	61	27,806	22	135,786	109
22	大台町	20,641	16	8,150	3	11,076	4	39,867	23
23	玉城町	50,799	57	79,708	96	80,660	80	211,167	233
24	度会町			5,160	5	21,629	8	26,789	13
25	大紀町			11,250	10	8,525	6	19,775	16
26	南伊勢町	11,859	20	63,156	64	78,944	44	153,959	128
27	紀北町	5,458	10	18,720	14	24,493	16	48,671	40
28	御浜町	11,957	12	8,720	6	11,788	6	32,465	24
29	紀宝町	8,303	11	9,062	7	10,346	8	27,711	26
30	四日市港管理組合	4,696	5	4,216	4	3,218	2	12,130	11
31	松阪地区広域消防組合	13,469	15	6,866	6			20,335	21
32	志摩広域消防組合			7,463	8	1,662	1	9,125	9
33	紀勢地区広域消防組合			4,619	4			4,619	4
	合計	950,593	1,336	2,309,240	2,216	2,453,436	1,816	5,713,269	5,368

平成22年度 雇用創出基金事業の雇用進捗状況等について

H23.1月末現在

雇用進捗率

事業名	実施主体	雇用創出 計画人数 (人)	雇用開始見込み時期(人数は累計)										
			4月末まで	5月末まで	6月末まで	7月末まで	8月末まで	9月末まで	10月末まで	11月末まで	12月末まで	1月末まで	3月末まで
ふるさと雇用再生 特別基金事業	県	214	174	185	199	208	215	231	242	247	257	262	265
		進捗率	81.3%	86.4%	93.0%	97.2%	100.5%	107.9%	113.1%	115.4%	120.1%	122.4%	123.8%
	市町	206	137	144	149	163	170	173	183	200	206	217	224
		進捗率	66.5%	69.9%	72.3%	79.1%	82.5%	84.0%	88.8%	97.1%	100.0%	105.3%	108.7%
	計	420	311	329	348	371	385	404	425	447	463	479	489
		進捗率	74.0%	78.3%	82.9%	88.3%	91.7%	96.2%	101.2%	106.4%	110.2%	114.0%	116.4%
緊急雇用創出事業	県	2,855	522	840	1,003	1,205	1,393	1,856	2,157	2,375	2,734	3,004	3,133
		進捗率	18.3%	29.4%	35.1%	42.2%	48.8%	65.0%	75.6%	83.2%	95.8%	105.2%	109.7%
	市町	2,216	624	750	839	1,063	1,142	1,283	1,818	1,948	2,034	2,234	2,311
		進捗率	28.2%	33.8%	37.9%	48.0%	51.5%	57.9%	82.0%	87.9%	91.8%	100.8%	104.3%
	計	5,071	1,146	1,590	1,842	2,268	2,535	3,139	3,975	4,323	4,768	5,238	5,444
		進捗率	22.6%	31.4%	36.3%	44.7%	50.0%	61.9%	78.4%	85.2%	94.0%	103.3%	107.4%
合計	県	3,069	696	1,025	1,202	1,413	1,608	2,087	2,399	2,622	2,991	3,266	3,398
		進捗率	22.7%	33.4%	39.2%	46.0%	52.4%	68.0%	78.2%	85.4%	97.5%	106.4%	110.7%
	市町	2,422	761	894	988	1,226	1,312	1,456	2,001	2,148	2,240	2,451	2,535
		進捗率	31.4%	36.9%	40.8%	50.6%	54.2%	60.1%	82.6%	88.7%	92.5%	101.2%	104.7%
	計	5,491	1,457	1,919	2,190	2,639	2,920	3,543	4,400	4,770	5,231	5,717	5,933
		進捗率	26.5%	34.9%	39.9%	48.1%	53.2%	64.5%	80.1%	86.9%	95.3%	104.1%	108.0%

※「雇用創出計画人数」は1月末時点における事業計画による人数

雇用者の内訳

事業名	実施主体	雇用人数 (人)	雇用者の内訳									
			性別		年代					属性		
			男性	女性	～20代	30代	40代	50代	60代～	新卒 未就職者	外国人	障がい者
ふるさと雇用再生 特別基金事業	県	262	144	118	55	75	48	36	48	2	10	2
		構成比率	55.0%	45.0%	21.0%	28.6%	18.3%	13.7%	18.3%	0.8%	3.8%	0.8%
	市町	217	94	123	61	45	54	29	28	17	13	0
		構成比率	43.3%	56.7%	28.1%	20.7%	24.9%	13.4%	12.9%	7.8%	6.0%	0.0%
	計	479	238	241	116	120	102	65	76	19	23	2
		構成比率	49.7%	50.3%	24.2%	25.1%	21.3%	13.6%	15.9%	4.0%	4.8%	0.4%
緊急雇用創出事業	県	3,004	1,696	1,308	742	601	539	431	691	182	88	28
		構成比率	56.5%	43.5%	24.7%	20.0%	17.9%	14.3%	23.0%	6.1%	2.9%	0.9%
	市町	2,234	1,098	1,136	385	461	449	415	524	47	89	10
		構成比率	49.1%	50.9%	17.2%	20.6%	20.1%	18.6%	23.5%	2.1%	4.0%	0.4%
	計	5,238	2,794	2,444	1,127	1,062	988	846	1,215	229	177	38
		構成比率	53.3%	46.7%	21.5%	20.3%	18.9%	16.2%	23.2%	4.4%	3.4%	0.7%
合計	県	3,266	1,840	1,426	797	676	587	467	739	184	98	30
		構成比率	56.3%	43.7%	24.4%	20.7%	18.0%	14.3%	22.6%	5.6%	3.0%	0.9%
	市町	2,451	1,192	1,259	446	506	503	444	552	64	102	10
		構成比率	48.6%	51.4%	18.2%	20.6%	20.5%	18.1%	22.5%	2.6%	4.2%	0.4%
	計	5,717	3,032	2,685	1,243	1,182	1,090	911	1,291	248	200	40
		構成比率	53.0%	47.0%	21.7%	20.7%	19.1%	15.9%	22.6%	4.3%	3.5%	0.7%

※「雇用者の内訳」人数は有効回答者数によります。

※構成比率について、小数点第2位を四捨五入のため、合計が100%にならない場合があります。

雇用者の前職の状況①

事業名	実施主体	雇用人数 (人)	前職の状況									
			職 種						雇用形態			
			農林漁業	製造業	土木建設	医療福祉	事務	その他	正規	非正規	パート	その他
ふるさと雇用再生 特別基金事業	県	262	7	36	11	12	96	98	136	55	41	27
		構成比率	2.7%	13.8%	4.2%	4.6%	36.9%	37.7%	52.5%	21.2%	15.8%	10.4%
	市町	217	8	21	12	9	63	84	104	43	34	16
		構成比率	4.1%	10.7%	6.1%	4.6%	32.0%	42.6%	52.8%	21.8%	17.3%	8.1%
	計	479	15	57	23	21	159	182	240	98	75	43
		構成比率	3.3%	12.5%	5.0%	4.6%	34.8%	39.8%	52.6%	21.5%	16.4%	9.4%
緊急雇用創出事業	県	3,004	73	362	135	117	660	1,430	1,032	870	521	330
		構成比率	2.6%	13.0%	4.9%	4.2%	23.8%	51.5%	37.5%	31.6%	18.9%	12.0%
	市町	2,234	63	316	142	110	504	1,026	611	583	618	349
		構成比率	2.9%	14.6%	6.6%	5.1%	23.3%	47.5%	28.3%	27.0%	28.6%	16.1%
	計	5,238	136	678	277	227	1,164	2,456	1,643	1,453	1,139	679
		構成比率	2.8%	13.7%	5.6%	4.6%	23.6%	49.7%	33.4%	29.6%	23.2%	13.8%
合計	県	3,266	80	398	146	129	756	1,528	1,168	925	562	357
		構成比率	2.6%	13.1%	4.8%	4.2%	24.9%	50.3%	38.8%	30.7%	18.7%	11.9%
	市町	2,451	71	337	154	119	567	1,110	715	626	652	365
		構成比率	3.0%	14.3%	6.5%	5.0%	24.0%	47.1%	30.3%	26.5%	27.7%	15.5%
	計	5,717	151	735	300	248	1,323	2,638	1,883	1,551	1,214	722
		構成比率	2.8%	13.6%	5.6%	4.6%	24.5%	48.9%	35.1%	28.9%	22.6%	13.4%

※「前職の状況」人数は有効回答者数によります。

※非正規は派遣・請負・期間労働者を指します。

※構成比率について、小数点第2位を四捨五入のため、合計が100%にならない場合があります。

雇用者の前職の状況②

事業名	実施主体	雇用人数 (人)	前職の状況						
			雇用保険加入の有無		離職事由				
			加入	非加入	雇い止め等	倒産	自己都合	定年退職	その他
ふるさと雇用再生 特別基金事業	県	262	196	63	65	4	134	23	32
		構成比率	75.7%	24.3%	25.2%	1.6%	51.9%	8.9%	12.4%
	市町	217	147	50	34	5	125	13	20
		構成比率	74.6%	25.4%	17.3%	2.5%	63.5%	6.6%	10.2%
	計	479	343	113	99	9	259	36	52
		構成比率	75.2%	24.8%	21.8%	2.0%	56.9%	7.9%	11.4%
緊急雇用創出事業	県	3,004	1,719	1,023	681	53	1,279	276	462
		構成比率	62.7%	37.3%	24.8%	1.9%	46.5%	10.0%	16.8%
	市町	2,234	1,562	597	563	37	877	199	483
		構成比率	72.3%	27.7%	26.1%	1.7%	40.6%	9.2%	22.4%
	計	5,238	3,281	1,620	1,244	90	2,156	475	945
		構成比率	66.9%	33.1%	25.3%	1.8%	43.9%	9.7%	19.2%
合計	県	3,266	1,915	1,086	746	57	1,413	299	494
		構成比率	63.8%	36.2%	24.8%	1.9%	47.0%	9.9%	16.4%
	市町	2,451	1,709	647	597	42	1,002	212	503
		構成比率	72.5%	27.5%	25.3%	1.8%	42.5%	9.0%	21.3%
	計	5,717	3,624	1,733	1,343	99	2,415	511	997
		構成比率	67.6%	32.4%	25.0%	1.8%	45.0%	9.5%	18.6%

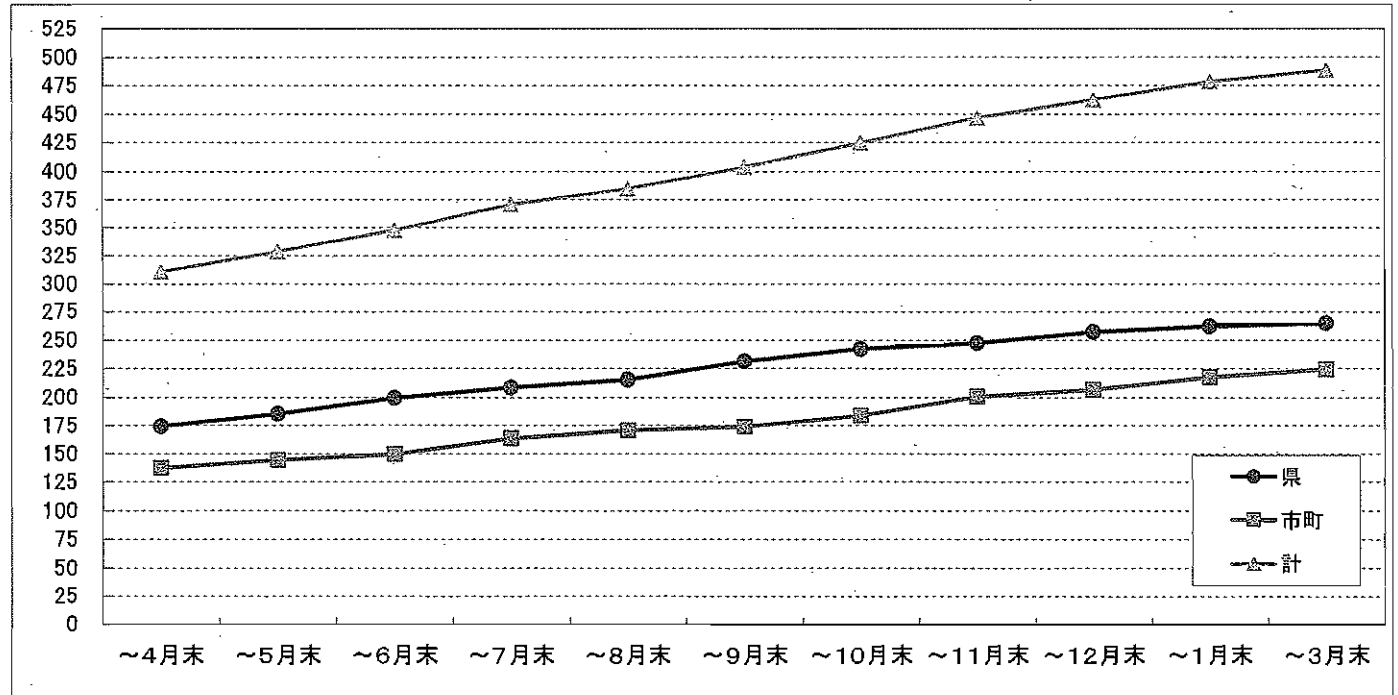
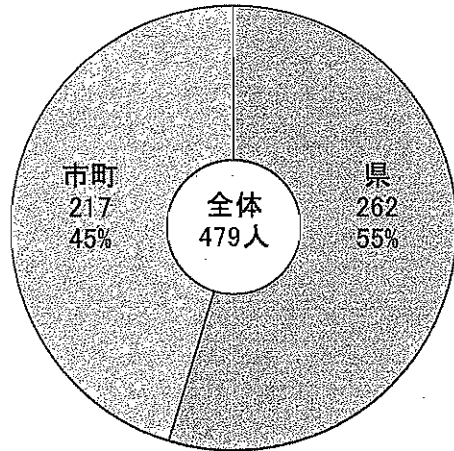
※「前職の状況」人数は有効回答者数によります。

※構成比率について、小数点第2位を四捨五入のため、合計が100%にならない場合があります。

平成22年度ふるさと雇用再生特別基金事業雇用計画数

(単位：人) ※H23.1月末現在

1月末時点雇用者数



事業名	実施主体	雇用創出計画人数(人)	雇用開始見込み時期(人数は累計)										
			~4月末	~5月末	~6月末	~7月末	~8月末	~9月末	~10月末	~11月末	~12月末	~1月末	~3月末
ふるさと雇用再生特別基金事業	県	214	174	185	199	208	215	231	242	247	257	262	265
		進捗率	81.3%	86.4%	93.0%	97.2%	100.5%	107.9%	113.1%	115.4%	120.1%	122.4%	123.8%
	市町	206	137	144	149	163	170	173	183	200	206	217	224
		進捗率	66.5%	69.9%	72.3%	79.1%	82.5%	84.0%	88.8%	97.1%	100.0%	105.3%	108.7%
	計	420	311	329	348	371	385	404	425	447	463	479	489
		進捗率	74.0%	78.3%	82.9%	88.3%	91.7%	96.2%	101.2%	106.4%	110.2%	114.0%	116.4%

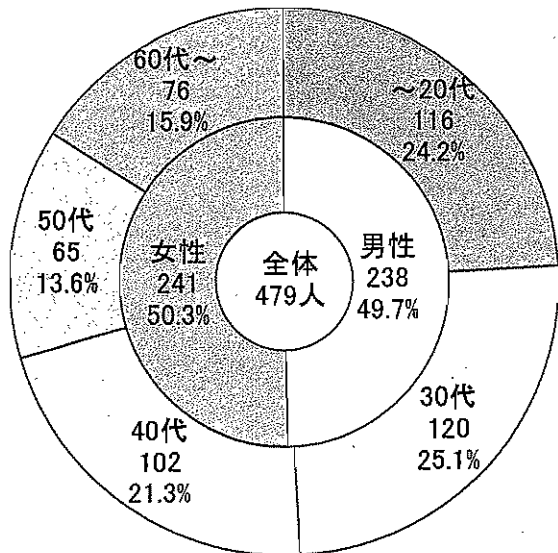
※「雇用創出計画人数」は1月末時点での今後の雇用見込数であり、事業計画における雇用予定人数とは異なります。

平成22年度ふるさと雇用再生特別基金事業 雇用者の属性（性別・年齢別）

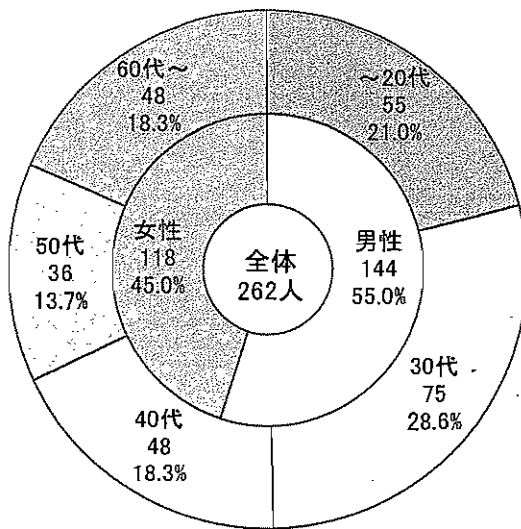
（単位：人、％）

※H23.1月末現在

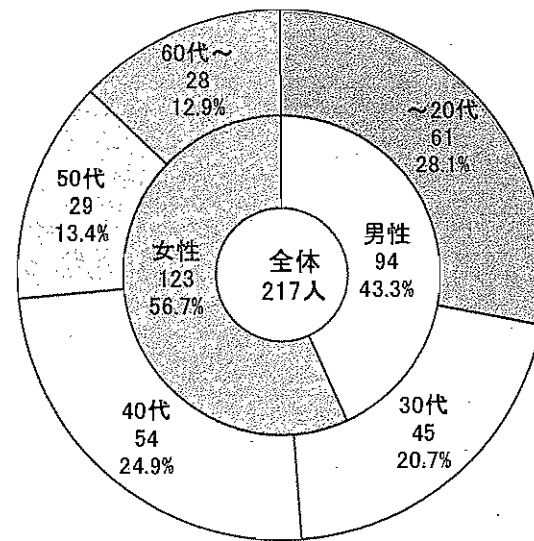
全体



県



市町



雇用者の内訳

事業名	実施主体	雇用人数 (人)	雇用者の内訳									
			性別		年代					属性		
			男性	女性	～20代	30代	40代	50代	60代～	新卒 未就職者	外国人	障がい者
ふるさと雇用再生 特別基金事業	県	262	144	118	55	75	48	36	48	2	10	2
		構成比率	55.0%	45.0%	21.0%	28.6%	18.3%	13.7%	18.3%	0.8%	3.8%	0.8%
	市町	217	94	123	61	45	54	29	28	17	13	0
		構成比率	43.3%	56.7%	28.1%	20.7%	24.9%	13.4%	12.9%	7.8%	6.0%	0.0%
	計	479	238	241	116	120	102	65	76	19	23	2
		構成比率	49.7%	50.3%	24.2%	25.1%	21.3%	13.6%	15.9%	4.0%	4.8%	0.4%

今後の正規雇用を見込むため、30代以下の比較的若い世代の割合が高く、49%を占めています。

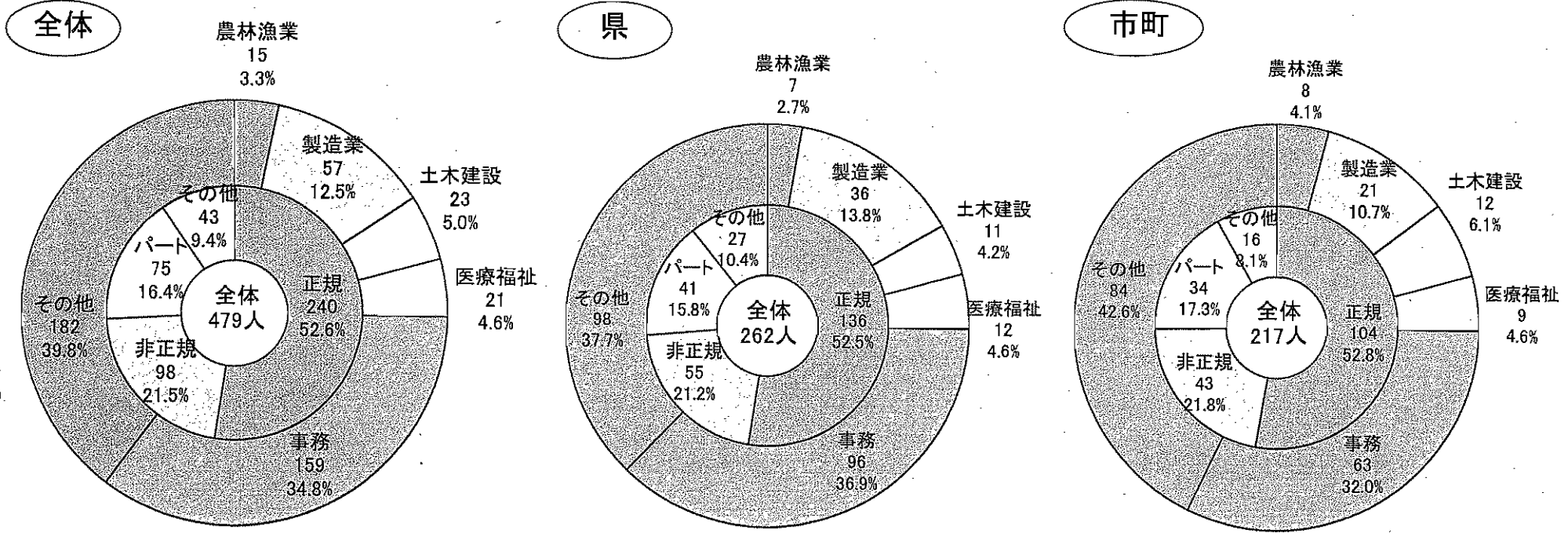
※「雇用者の内訳」人数は有効回答者数によります。

※構成比率について、小数点第2位を四捨五入のため、合計が100%にならない場合があります。

平成22年度ふるさと雇用再生特別基金事業
雇用者の前職状況（職種・雇用形態別）

（単位：人、％）

※H23.1月末現在



雇用者の前職の状況①

事業名	実施主体	雇用人数	前職の状況									
			職種						雇用形態			
			農林漁業	製造業	土木建設	医療福祉	事務	その他	正規	非正規	パート	その他
ふるさと雇用再生特別基金事業	県	262	7	36	11	12	96	98	136	55	41	27
		構成比率	2.7%	13.8%	4.2%	4.6%	36.9%	37.7%	52.5%	21.2%	15.8%	10.4%
	市町	217	8	21	12	9	63	84	104	43	34	16
		構成比率	4.1%	10.7%	6.1%	4.6%	32.0%	42.6%	52.8%	21.8%	17.3%	8.1%
	計	479	15	57	23	21	159	182	240	98	75	43
		構成比率	3.3%	12.5%	5.0%	4.6%	34.8%	39.8%	52.6%	21.5%	16.4%	9.4%

前職が飲食業、販売・サービス業等の「その他」と「事務」で75%を占めています。その理由として、販路拡大業務などにおける営業や販売部門で経験者等(正規雇用者)が多いこと等が考えられます。

※「前職の状況」人数は有効回答者数によります。

※非正規は派遣・請負・期間労働者を指します。

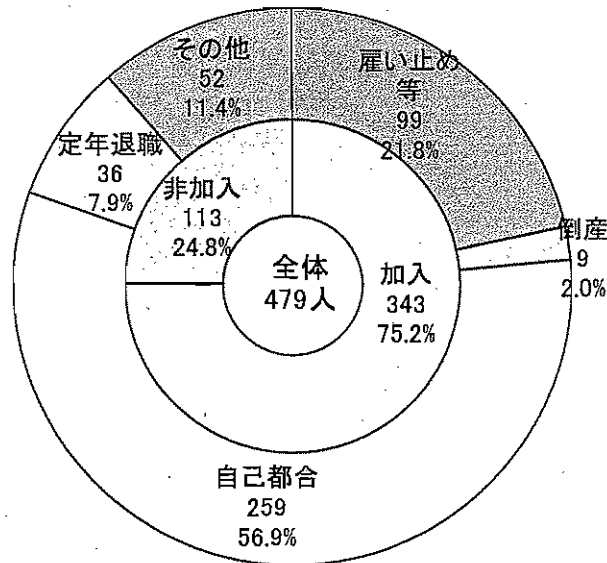
※構成比率について、小数点第2位を四捨五入のため、合計が100%にならない場合があります。

**平成22年度ふるさと雇用再生特別基金事業
雇用者の前職状況（雇用保険加入の有無・離職事由別）**

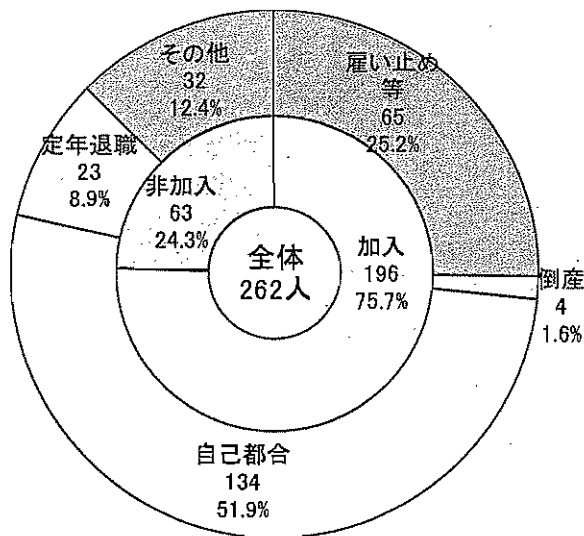
（単位：人、％）

※H23.1月末現在

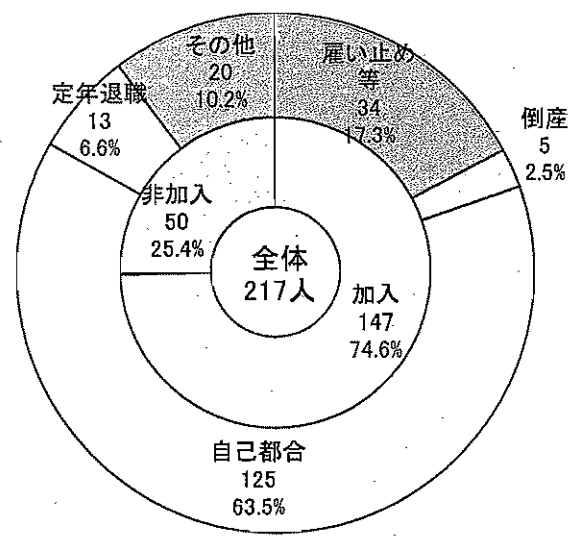
全体



県



市町



雇用者の前職の状況②

事業名	実施主体	雇用人数	前職の状況						
			雇用保険加入の有無		離職事由				
			加入	非加入	雇い止め等	倒産	自己都合	定年退職	その他
ふるさと雇用再生特別基金事業	県	262	196	63	65	4	134	23	32
		構成比率	75.7%	24.3%	25.2%	1.6%	51.9%	8.9%	12.4%
	市町	217	147	50	34	5	125	13	20
		構成比率	74.6%	25.4%	17.3%	2.5%	63.5%	6.6%	10.2%
	計	479	343	113	99	9	259	36	52
		構成比率	75.2%	24.8%	21.8%	2.0%	56.9%	7.9%	11.4%

前職での雇用保険の加入者は75%を占めています。
また、離職事由は「自己都合」が57%で最も多く、次いで「雇い止め等」の22%となっています。

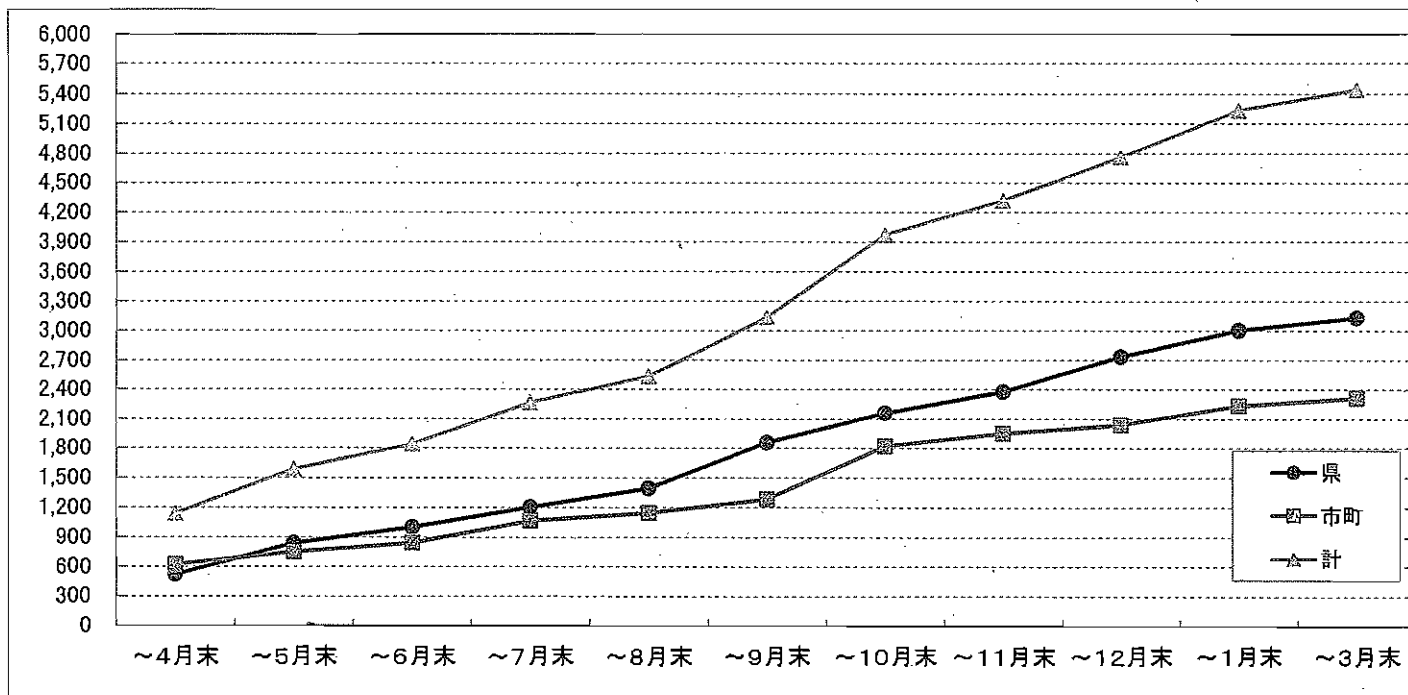
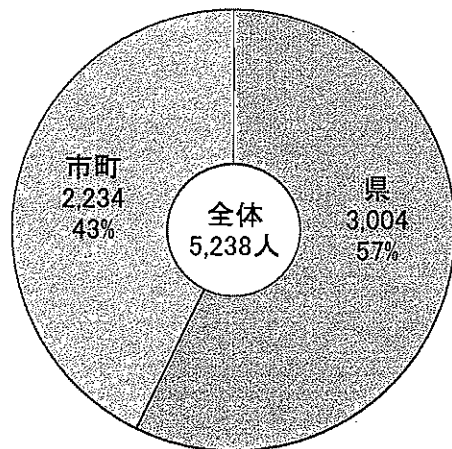
※「前職の状況」人数は有効回答者数によります。

※構成比率について、小数点第2位を四捨五入のため、合計が100%にならない場合があります。

平成22年度緊急雇用創出事業事業雇用計画数

(単位：人) ※H23.1月末現在

1月末時点雇用者数



事業名	実施主体	雇用創出計画人数(人)	雇用開始見込み時期(人数は累計)										
			~4月末	~5月末	~6月末	~7月末	~8月末	~9月末	~10月末	~11月末	~12月末	~1月末	~3月末
緊急雇用創出事業	県	2,855	522	840	1,003	1,205	1,393	1,856	2,157	2,375	2,734	3,004	3,133
		進捗率	18.3%	29.4%	35.1%	42.2%	48.8%	65.0%	75.6%	83.2%	95.8%	105.2%	109.7%
	市町	2,216	624	750	839	1,063	1,142	1,283	1,818	1,948	2,034	2,234	2,311
		進捗率	28.2%	33.8%	37.9%	48.0%	51.5%	57.9%	82.0%	87.9%	91.8%	100.8%	104.3%
	計	5,071	1,146	1,590	1,842	2,268	2,535	3,139	3,975	4,323	4,768	5,238	5,444
		進捗率	22.6%	31.4%	36.3%	44.7%	50.0%	61.9%	78.4%	85.2%	94.0%	103.3%	107.4%

※「雇用創出計画人数」は1月末時点での今後の雇用見込数であり、事業計画における雇用予定人数とは異なります。

平成22年度緊急雇用創出事業
雇用の属性（性別・年齢別）

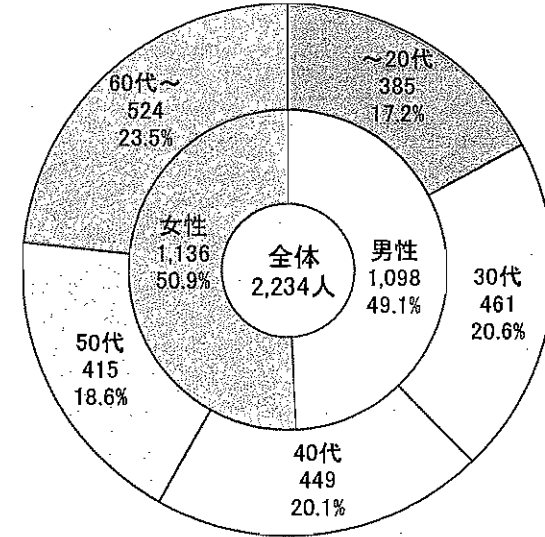
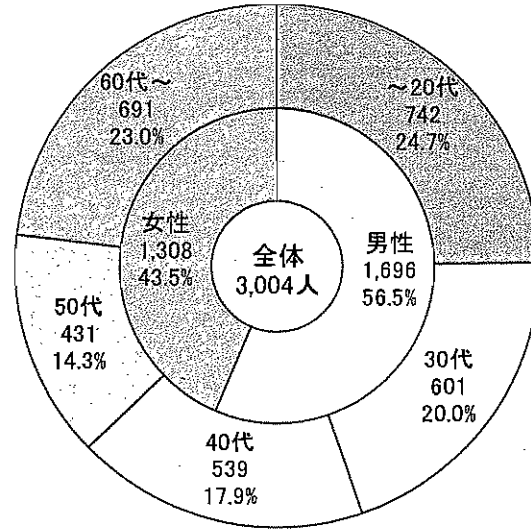
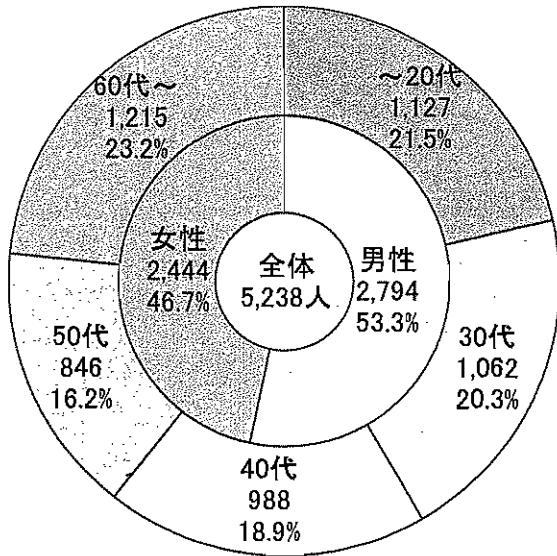
(単位：人、%)

※H23.1月末現在

全体

県

市町



雇用の内訳

事業名	実施主体	雇用人数 (人)	雇用の内訳									
			性別		年代					属性		
			男性	女性	～20代	30代	40代	50代	60代～	新卒 未就職者	外国人	障がい者
緊急雇用創出事業	県	3,004	1,696	1,308	742	601	539	431	691	182	88	28
		構成比率	56.5%	43.5%	24.7%	20.0%	17.9%	14.3%	23.0%	6.1%	2.9%	0.9%
	市町	2,234	1,098	1,136	385	461	449	415	524	47	89	10
		構成比率	49.1%	50.9%	17.2%	20.6%	20.1%	18.6%	23.5%	2.1%	4.0%	0.4%
	計	5,238	2,794	2,444	1,127	1,062	988	846	1,215	229	177	38
		構成比率	53.3%	46.7%	21.5%	20.3%	18.9%	16.2%	23.2%	4.4%	3.4%	0.7%

※「雇用の内訳」人数は有効回答者数によります。

※構成比率について、小数点第2位を四捨五入のため、合計が100%にならない場合があります。

年代別では、30代と40代を合わせると39%を占めています。

なお、県事業で20代までが25%と多いのは、新卒未就職者対策等による若年者の雇用によるものです。

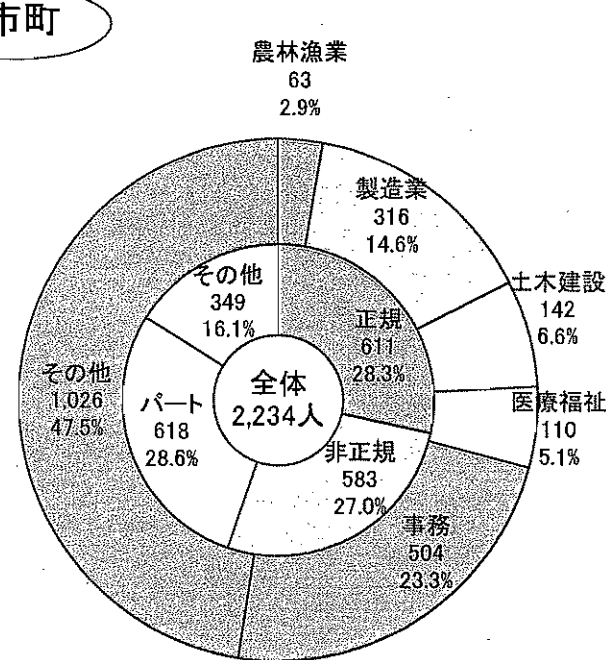
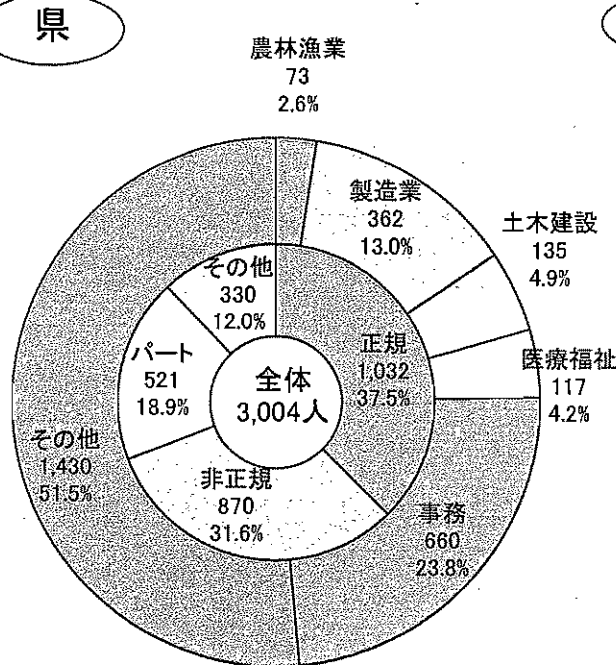
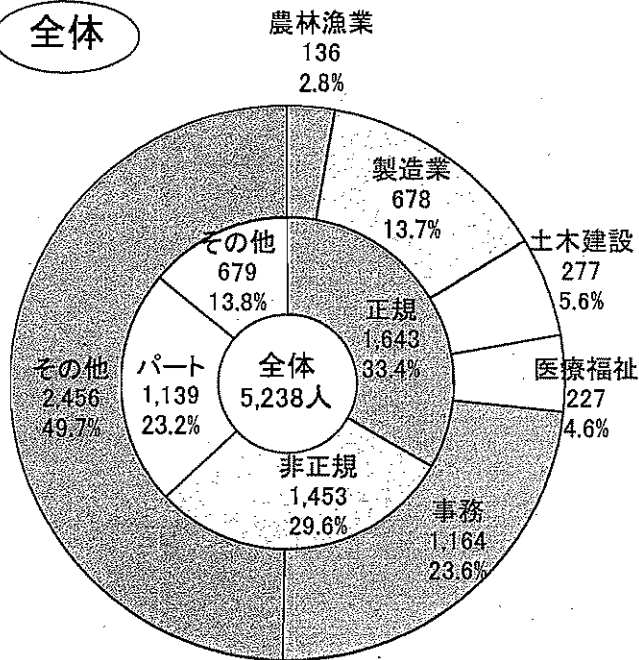
平成22年度緊急雇用創出事業 雇用者の前職状況（職種・雇用形態別）

（単位：人、％） ※H23.1月末現在

全体

県

市町



雇用者の前職の状況①

事業名	実施主体	雇用人数	前職の状況									
			職種						雇用形態			
			農林漁業	製造業	土木建設	医療福祉	事務	その他	正規	非正規	パート	その他
緊急雇用創出事業	県	3,004	73	362	135	117	660	1,430	1,032	870	521	330
		構成比率	2.6%	13.0%	4.9%	4.2%	23.8%	51.5%	37.5%	31.6%	18.9%	12.0%
	市町	2,234	63	316	142	110	504	1,026	611	583	618	349
		構成比率	2.9%	14.6%	6.6%	5.1%	23.3%	47.5%	28.3%	27.0%	28.6%	16.1%
	計	5,238	136	678	277	227	1,164	2,456	1,643	1,453	1,139	679
		構成比率	2.8%	13.7%	5.6%	4.6%	23.6%	49.7%	33.4%	29.6%	23.2%	13.8%

前職が飲食業、販売・サービス業等の「その他」と「事務」で73%を占めています。
前職の雇用形態が非正規とパートを合わせると53%を占めています。

※「前職の状況」人数は有効回答者数によります。

※非正規は派遣・請負・期間労働者を指します。

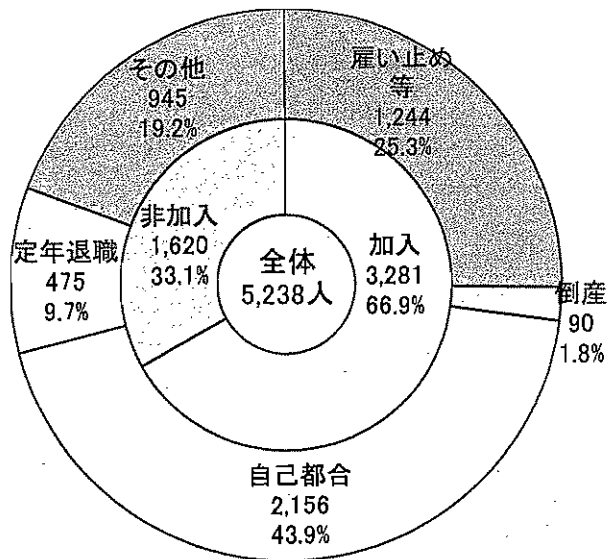
※構成比率について、小数点第2位を四捨五入のため、合計が100%にならない場合があります。

平成22年度緊急雇用創出事業 雇用者の前職状況（雇用保険加入の有無・離職事由別）

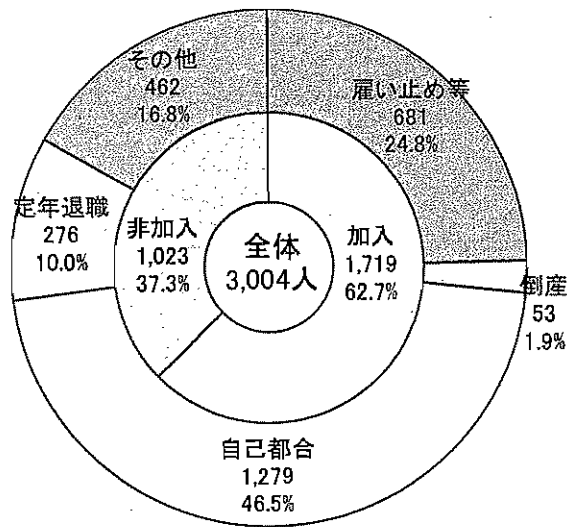
（単位：人、％）

※H23.1月末現在

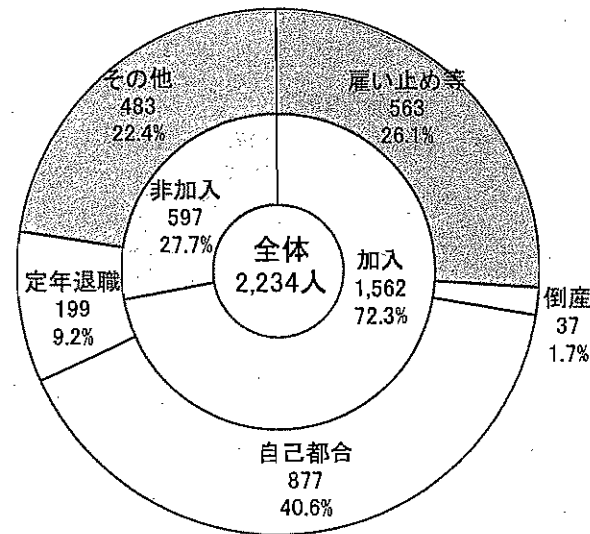
全体



県



市町



雇用者の前職の状況②

事業名	実施主体	雇用人数	前職の状況						
			雇用保険加入の有無		離職事由				
			加入	非加入	雇い止め等	倒産	自己都合	定年退職	その他
緊急雇用創出事業	県	3,004	1,719	1,023	681	53	1,279	276	462
		構成比率	62.7%	37.3%	24.8%	1.9%	46.5%	10.0%	16.8%
	市町	2,234	1,562	597	563	37	877	199	483
		構成比率	72.3%	27.7%	26.1%	1.7%	40.6%	9.2%	22.4%
	計	5,238	3,281	1,620	1,244	90	2,156	475	945
		構成比率	66.9%	33.1%	25.3%	1.8%	43.9%	9.7%	19.2%

前職での雇用保険の加入者は67%を占めています。
また、離職事由は「自己都合」が44%で最も多く、次いで「雇い止め等」の25%となっています。

※「前職の状況」人数は有効回答者数によります。

※構成比率について、小数点第2位を四捨五入のため、合計が100%にならない場合があります。

Ⅲ. 新規学卒者等の就職対策について

(1) 企業訪問要請

新卒者をはじめとする若年者の雇用確保を要請するため、県内外の従業員数301名以上の企業・事業所112社を対象として、副知事をはじめとする県幹部職員が、三重労働局と連携して企業訪問を行いました。

ア 訪問結果

○実施日時 平成22年11月17日(水)～

平成22年12月24日(金)

○訪問企業数 96社

郵送等での要請 16社 (業務多忙等により訪問見合わせ)

合計 112社

イ 訪問者

<県>

両副知事、生活・文化部、農水商工部、教育委員会及び政策部、健康福祉部、環境森林部、県土整備部の部局長等並びに各県民センター所長等

<国>

三重労働局幹部職員及び各公共職業安定所長等

ウ 訪問体制 県幹部+県担当者+三重労働局幹部等

(一部企業については、県単独で訪問)

エ 訪問内容

○要請文の手交、説明

※要請等の内容

- ・新卒者(高卒、大卒等)・若年者の雇用確保
- ・新卒者・若年者雇用にかかる制度改正と企業支援策の周知
- ・障がい者の雇用促進と助成制度等の周知

○雇用・経済情勢等の聞き取り

オ 訪問企業からの意見等

○意見

訪問した企業の大半は、既に来年度の採用を終えており、「現在の経済状況では、先行きの見通しも立ちにくく、追加採用は困難である。」との

意見が多かった。しかし、要請の趣旨に賛同したり、面談の中で案内をしている新卒者を対象とした奨励金等の制度に関心を持つなどにより、追加採用に向けて検討をしていただいた企業もあった。

なお、把握している新規求人は以下のとおり

- ・ 紹介予定派遣制度を利用し、グループ会社の人材派遣会社での新規採用
平成23年3月に大学・大学院・短大を卒業見込みの方（新卒者）及び3年以内既卒者を3～4名募集したのに対し、101名の応募があり、5名内定
- ・ 一般求人（正社員：18才～30才まで限定）3名募集のところ、29名の応募があり、5名採用

また、そのほかの意見は以下のとおり

- ・ 高齢者の継続雇用や就労環境の整備による出産・育児後の継続勤務の増加、不景気によって新規採用者の定着率が上がっていることなども、新卒者の採用に影響を与えている。
- ・ 営業職では、募集をするものの応募が少ない。
- ・ 求職者のコミュニケーション能力が低下しているように思われる。また、積極性や責任感、使命感も重要で、身につけておいて欲しい。
- ・ 技術継承が大切であり、極力採用を絶やさないよう努めたい。
- ・ 障がい者雇用については、問題意識は持っているが、現状では製造現場としての危険性や施設改修について問題がある。また、業種の性格上、総務部門での採用に限られてしまい、厳しいところもある。

○要望

- ・ 雇用施策以前に景気対策・経済対策を先に実施してほしい。
- ・ いろいろな制度があるようだが、情報が企業まで届いていないし、リアルタイムでなかなか情報が入ってこない。もっとPRをして欲しい。
- ・ インターンシップなどハローワークや商工会議所等複数から受入依頼があるので、窓口を一本化して欲しい。
- ・ 工場はアクセスが大事であり、渋滞緩和のためのインフラ整備をお願いしたい。
- ・ 申請書を紙ベースではなく、電子対応として欲しい。また、必要書類が多く煩雑である。事務手続処理の軽減化をして欲しい。

(2) 三重労働局新卒者就職応援本部

三重労働局が事務局となり、公共職業安定所、学校関係者、事業主団体、

労働団体や三重県等が委員となって「三重労働局新卒者就職応援本部」が設置され、その第1回会議の中で、関係機関が緊密に連携し、昨年度以上の就職内定率を目指すとした「新卒支援宣言」をとりまとめた。

本年1月には、就職を希望する高校生の保護者に対して、ハローワーク等の利用をすすめる文書を就職応援本部名で配布するなど、一人でも多くの就職につながるよう取り組んでいるところである。

(3) 就職面接会

高校・大学等新卒者及び未就職者、U・Iターン希望者を対象として、平成22年度は、実施規模の大きい「ふるさと就職セミナー」を4回、「合同企業説明会」を3回実施。

○ 実績

「ふるさと就職セミナー」	参加企業	計	363社
	来場者	計	2,020人
	就職決定者(第1、2回)	計	73人
「合同企業説明会」	参加企業	計	99社
	来場者	計	774人

(4) 未就職卒業生人材育成事業

就職先未決定のまま、高校等を卒業した若者に対して、県内の民間就職支援機関で雇用したうえで、コミュニケーション能力やビジネスマナーなど職業人としての基礎的能力を高める研修、介護・技能・販売職に就くための知識の向上を図る研修、各事業現場における実地研修を行い、早期就職を図る「未就職卒業生人材育成事業」を実施。

受講者111人中、65人の就職先が決定した。(1月31日現在)

また、今春卒業予定者の就職内定率が依然として厳しい状況が予想されることから、引き続き、平成23年度においても当該事業を実施する。

なお、実施にあたっては、よりきめ細やかな対応により研修の効果を高め、正規雇用につなげられるよう主に以下の点について変更し実施する。

- ・ 各事業現場における実地研修を最長55日間(平成22年度は15日間)に伸ばし、雇用期間を5ヶ月間(平成22年度は3ヶ月間)に延長
- ・ 高卒の方と高卒以外の方を地域ごとに別クラスで実施
(平成22年度は、学歴に関係なく全体を地域ごとにクラス分け)
- ・ 募集対象者を高校や大学等を平成23年3月に卒業する者及び平成

20年3月以降の既卒者等に拡大

(平成22年度は、平成22年3月に高等学校または大学等を卒業する
見込みの者)

未就職卒業生等支援事業

平成23年度予算額
180,818千円

厳しい雇用状況の中、就職先未決定のまま卒業した若者等が、職業人として必要となる基礎的な技術・知識を高め、就職できるよう、研修や技能訓練の機会を設けるとともに、就職面接会の開催や在校生に対する支援を行います。

未就職卒業生人材育成事業

平成23年度予算額
169,977千円

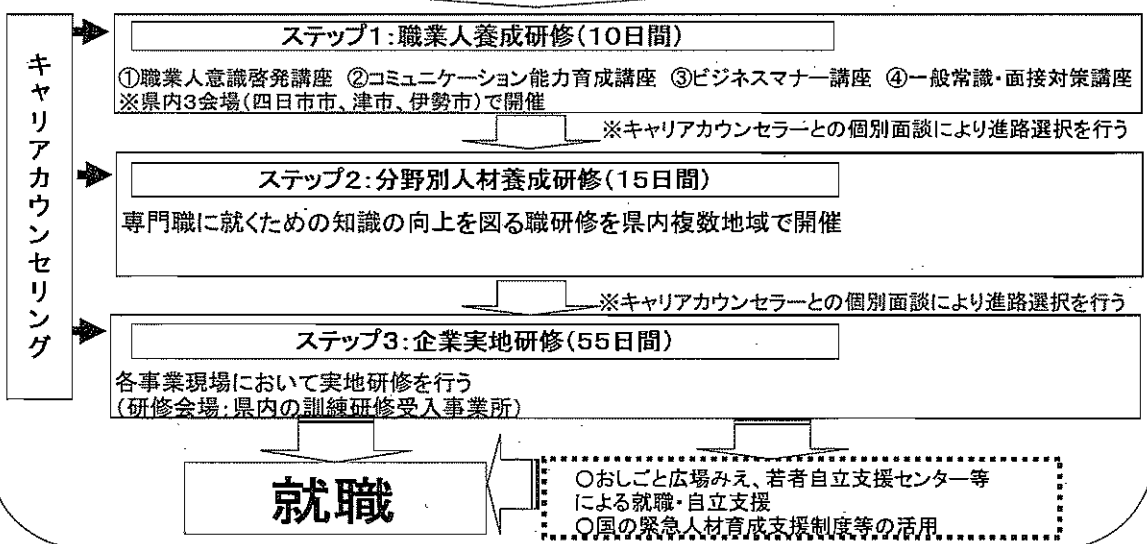
高校や大学等を平成23年3月に卒業する者や平成20年3月以降に卒業した新卒未就職者等を、県内の民間就職支援機関等で雇用したうえ、コミュニケーション能力やビジネスマナーなどの職業人としての基礎的能力を高める研修や、専門職に就くための知識の向上を図る研修及び、各事業現場における実地訓練を行います。

ポイント

- 研修期間は、平成23年4月上旬から5ヶ月間程度
- 県が委託する民間就職支援機関等において、新卒未就職者を雇用し給与を支払う(1ヶ月12万円程度)
- キャリアカウンセラーとの個別面談により進路選択を行う

研修の流れ

研修希望者



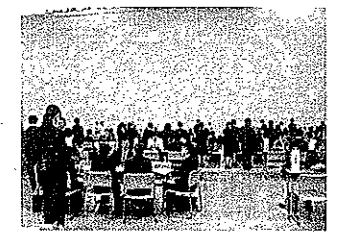
大学生等就職マッチング支援事業

平成23年度予算額
10,841千円

緊急的な対策として就職面接会を拡充開催するとともに、今後就職を控える大学生や未就職卒業生を対象とする短期現場研修(インターンシップ)先の確保・拡大等を図り、来春以降に大学を卒業する学生や未就職卒業生等の就職のマッチングを進めます。

事業内容

- (1)緊急就職面接会の開催
大規模な就職セミナーとして開催している「ふるさと就職セミナー」に加え、「緊急就職面接会」を県内2カ所で新たに開催します。



H22年度ふるさと就職セミナー

- (2)インターンシップ受入企業の確保・拡大等
厳しい経済状況の中、短期現場研修(インターンシップ)受入企業の確保が厳しくなっていることから、受入先の確保・拡大と大学・大学生等への情報提供、研修生の事前研修等を行います。

参考データ

県立高等学校(全・定)卒業予定者の就職内定状況
平成23年1月末現在における平成23年3月県立高等学校卒業予定者の就職内定率は、90.3%(前年度1月末88.7%)(教育委員会調べ)

大学等卒業予定者の就職内定状況
平成22年12月末現在における平成23年3月大学・短期大学卒業予定者の就職内定率は、大学69.3%(前年同期68.8%)、短期大学60.7%(前年同期58.9%)(三重労働局調べ)

22

(参考) 高校生の就職対策

教育委員会事務局高校教育室

1 現状(平成23年1月末現在)

(1) 就職内定状況(全日制・定時制)

		卒業 予定者数	就職 希望者数	就職 内定者数	1月末 内定率(%)	12月末 内定率(%)	1月末 就職未 内定者数	うち 結果待ち 生徒数
平成22年度	男	6,601	2,406	2,241	93.1%	90.8%	165	31
	女	6,341	1,647	1,418	86.1%	81.2%	229	45
	計	12,942	4,053	3,659	90.3%	86.8%	394	76
平成21年度	男	6,513	2,361	2,189	92.7%	90.0%	172	30
	女	6,444	1,655	1,372	82.9%	78.8%	283	37
	計	12,957	4,016	3,561	88.7%	85.4%	455	67
平成20年度	男	6,525	2,573	2,454	95.4%	94.9%	119	-
	女	6,509	1,875	1,698	90.6%	87.7%	177	-
	計	13,034	4,448	4,152	93.3%	91.9%	296	-

(2) 各地区別就職内定状況(全日制・定時制)

*()内はH22年1月末

	北勢	中勢	伊賀	松阪	南勢	牟婁	合計
就職内定率 (%)	92.0% (91.4)	87.1% (83.9)	86.3% (87.8)	94.0% (93.8)	92.6% (87.6)	84.4% (86.0)	90.3% (88.7)
就職希望者数	1,433	961	388	469	622	180	4,053
就職内定者数	1,318	837	335	441	576	152	3,659
就職未内定者数	115	124	53	28	46	28	394
うち結果待ち 生徒数	23	28	2	11	4	8	76

2 これまでの取組

(1) 進路希望実現するための取組

① 就職支援教員の配置

県立高校において就職支援を行う教員を配置(7人)し、生徒に対する就職相談、求人開拓等を行っています。(配置校7校)

② 就職支援相談員活用事業

県立高校に企業等で管理職等の経験を持つ人材を就職支援相談員として配置(4人)し、生徒の進路相談および相談結果をもとにした求人開拓を行っています。(配置校11校)

③ 県立学校就労支援総合ネットワーク構築事業

県内7地域にキャリア教育推進地域連携会議を設置するとともに、構築したネットワークを活用して求人開拓等を行う就労支援総合マネージャー(6人)を県立高校に配置しています。(支援校10校)

(2) 関係機関と連携した取組

① 経済団体への求人要請

県立高校・特別支援学校における就職・雇用機会拡大のために、県内の経済4団体へ求人要請を行いました。

ア 教育長名の書簡による経済4団体への求人要請(4月)

イ 教育長、生活・文化部長及び担当総括室長の訪問による、経済4団体及び12商工会議所への求人要請（8～9月）

- ② 雇用主会議（主催：ハローワーク）での求人枠拡大要請（10箇所）
各ハローワーク主催の雇用主会議において、高卒求人枠の維持・拡大及び採用についての要請を行いました。（桑名、四日市、鈴鹿、津、伊賀、名張、松阪、伊勢、尾鷲、熊野）
- ③ 県立学校（高校・特別支援学校）と企業の採用に関する情報交換会の開催（4箇所）
企業と県立学校が企業の採用動向や県立学校生の就職希望状況について情報交換し、互いのネットワーク作りを行いました。（四日市、津、伊賀、伊勢）
- ④ 市町と連携した就職情報交換会の開催（2箇所）
市町との連携による就職情報交換会を実施しました。（亀山、津）
- ⑤ 企業展の活用（2カ所）
県内企業が技術や製品を展示・実演する場を活用し、県立高校が企業情報の収集、求人開拓を行いました。
「地域が応援する高校生セミナー」（津センターパレス）
「リーディング産業展」（四日市ドーム）
- ⑥ 合同就職面接会の開催（5箇所）
（5箇所 主催：各ハローワーク、三重労働局、生活・文化部、教育委員会）
ハローワーク等と連携して実施する合同就職面接会に、高校生および教職員が参加しました。（四日市、津、伊賀、松阪、伊勢）
- ⑦ 就職ガイダンスの開催（5校 主催：三重労働局）
三重労働局と連携し、県立高校で就職ガイダンスを実施しました。
（四日市農芸、朝明、名張、昴学園、鳥羽）
- ⑧ 県立学校と企業の就職・採用に関する情報交換会の開催
（主催：県商工会議所連合会、県商工会連合会、県中小企業団体中央会、三重労働局、生活・文化部、教育委員会）
12月9日（木）四日市市文化会館
2月10日（木）アストホール
- ⑨ ふるさと就職セミナーの開催（2箇所）
高校・大学等卒業予定者を含む若年者、U・Iターン就職希望者及び離職者対象の合同就職面接会に、高校生が参加しました。
11月8日（月）四日市市文化会館
11月25日（木）三重県総合文化センター
- ⑩ Web求人未充足情報の提供
県教育委員会が外部人材を活用し「ハローワーク高卒求人情報Web提供サービス」に掲載された求人を対象として、未充足状況を取りまとめ、10月と12月に各高校に発信しました。
- ⑪ 三重県社会福祉協議会による福祉展の活用と個別相談
福祉展の活用や、個別の進路相談に高校生が参加しました。
11月27日（土）三重県総合文化センター
- ⑫ 三重県農林水産支援センターによる農林漁業就業・就職フェアの活用と個別相談
農林漁業就業・就職フェアの活用や、個別の進路相談に高校生が参加しました。
7月17日（土）三重県総合文化センター
2月19日（土）三重県総合文化センター

3 今後の対応

(1) 進路希望を実現するための取組

① 就職対策支援事業

県立高校が行う求人開拓及び就職した生徒の職場定着指導や継続的な求人確保のための事業所訪問、就職希望生徒と企業のマッチングの機会となる合同就職面接会や高校と企業との就職情報交換会の開催を支援しています。

② 高校生内定獲得緊急支援事業

未内定生徒を対象に、生徒のコミュニケーション能力向上を図る「就活ゼミ」と、企業における実地訓練を行う「就業サポート」を実施しています。(平成23年1月～3月)

(2) 関係機関と連携した取組

① 三重県社会保険労務士会による求人情報の提供

顧客である小規模事業所等に係る情報を県立高校に提供します。

(学校への情報提供数 2件)

② 農水商工部による新規立地企業に係る求人情報の提供

企業立地室が誘致する県内新規立地企業へ訪問し、当該企業に係る求人情報を各学校に提供します。(訪問企業数 10件、学校への情報提供数 5件)

IV. 障がい者の雇用対策について

1 障がい者雇用の状況

(1) 三重県の民間企業における障がい者雇用状況の推移 (各年6月1日現在)

	法定雇用率	常用労働者数 (対前年)	障がい者雇用数 (対前年)	実雇用率(%)		達成企業割合(%)	
				県 (対前年)	全国 (対前年)	県 (対前年)	全国 (対前年)
平成16年	1.80%	122,420 (114)	1,841.0 (16)	1.46 (-0.03)	1.46 (-0.02)	45.9 (1.2)	41.7 (-0.8)
平成17年		133,606 (11,186)	1,910.0 (69)	1.43 (-0.03)	1.49 (0.03)	45.7 -0.2	42.1 0.4
平成18年		136,597 (2,991)	1,941.0 (31)	1.42 (-0.01)	1.52 (0.03)	45.3 -0.4	43.4 1.3
平成19年		148,882 (12,285)	2,111.5 (171)	1.42 (0.00)	1.55 (0.03)	46.5 1.2	43.8 0.4
平成20年		149,384 (502)	2,228.0 (117)	1.49 (0.07)	1.59 (0.04)	50.2 3.7	44.9 1.1
平成21年		147,028 (-2,356)	2,210 (-18)	1.50 (0.01)	1.63 (0.04)	48.7 (-1.5)	45.5 (0.6)
平成22年		148,343 (1,315)	2,224.5 (15)	1.50 (0.00)	1.68 (0.05)	49.8 1.1	47.0 1.5

(2) 全国と三重県の障がい者雇用状況の比較 (各年6月1日現在)

		平成21年	平成22年	対前年比
常用労働者数 (人)	全国	20,441,198	20,356,456	-0.4%
	三重	147,028	148,343	0.9%
障がい者雇用数 (人)	全国	332,811.5	342,973.5	3.1%
	三重	2,210.0	2,224.5	0.7%

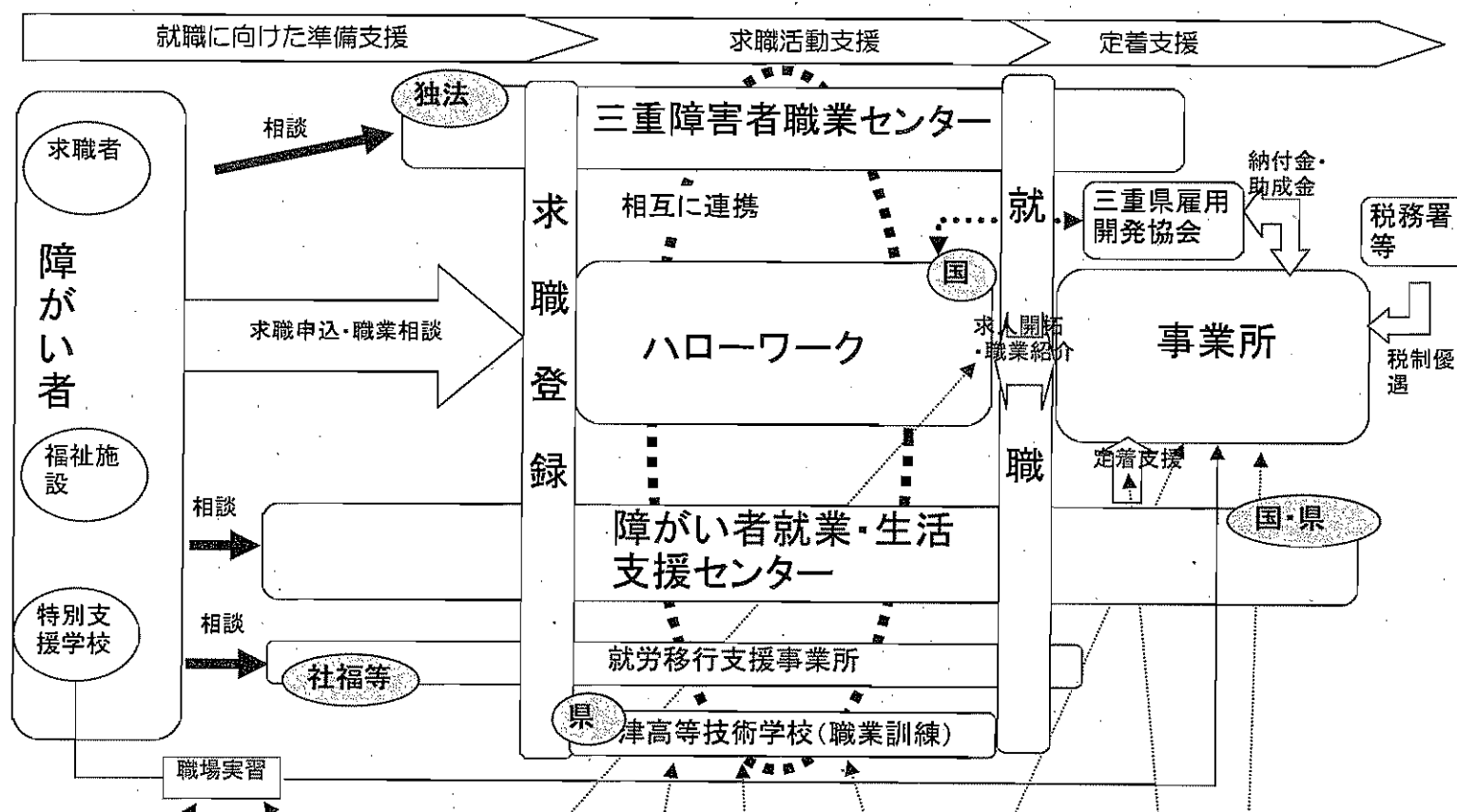
※実雇用率:障がい者雇用数/常用労働者数

平成22年6月1日現在の県内の民間企業の実雇用率は前年と同じ1.50%で、法定雇用率「1.80%」を大きく下回っています(全国最下位)。

また、法定雇用率の達成企業の割合は、49.8%と前年の48.7%から1.1ポイント上昇し、全国平均を上回っています。

2 障がい者雇用支援の体系

障がい者雇用のための支援機関



支援機関における主な業務

ハローワークでの支援(9カ所に設置)

求職活動支援(求職者への支援)

- 職業指導・職業紹介、就職面接会の開催、求人開拓
- 雇用保険給付(給付日数の特例)
- 職場定着指導
- 公共職業訓練の受講指示、斡旋
- 障害者試行雇用(トライアル雇用)事業
- 精神障害者ステップアップ雇用
- 精神障害者就職サポーターの配置

事業主への支援・指導

- 求人受理・職業紹介、就職面接会の開催
- 法定雇用率達成指導
- 障害者試行雇用(トライアル雇用)事業、精神障害者ステップアップ雇用奨励金、グループ雇用加算奨励金、精神障害者雇用安定奨励金
- 特定求職者雇用開発助成金、発達障害者雇用開発助成金、難治性疾患患者雇用開発助成金
- 障害者初回雇用奨励金
- 特例子会社等設立促進助成金、事業協同組合等雇用促進事業助成金

三重障害者職業センターでの支援(1カ所)

就職に向けた準備支援(求職者への支援)

- 職業カウンセリング、職業評価
- 職業準備支援

事業主への支援

- 雇用管理等に関する専門的な相談・助言
- ジョブコーチ支援事業

求職活動・定着支援(求職者への支援)

- ジョブコーチ支援事業
- 精神障害者の職場復帰支援(リワーク支援)

三重県雇用開発協会での支援(1カ所)

事業主への支援

- 障がい者雇用に関する講習等の開催
- 障がい者雇用に関する啓発活動
- 障害者雇用納付金制度の取り扱い
- 障害者雇用納付金制度に基づく助成金

障がい者就業・生活支援センターでの支援(7カ所)

就職に向けた準備支援(求職者への支援)

- 就労に関する様々な相談支援

求職活動・定着支援(求職者への支援)

- 就業面と生活面の一体的な支援

就労移行支援事業所での支援(16カ所)

求職活動・定着支援(求職者への支援)

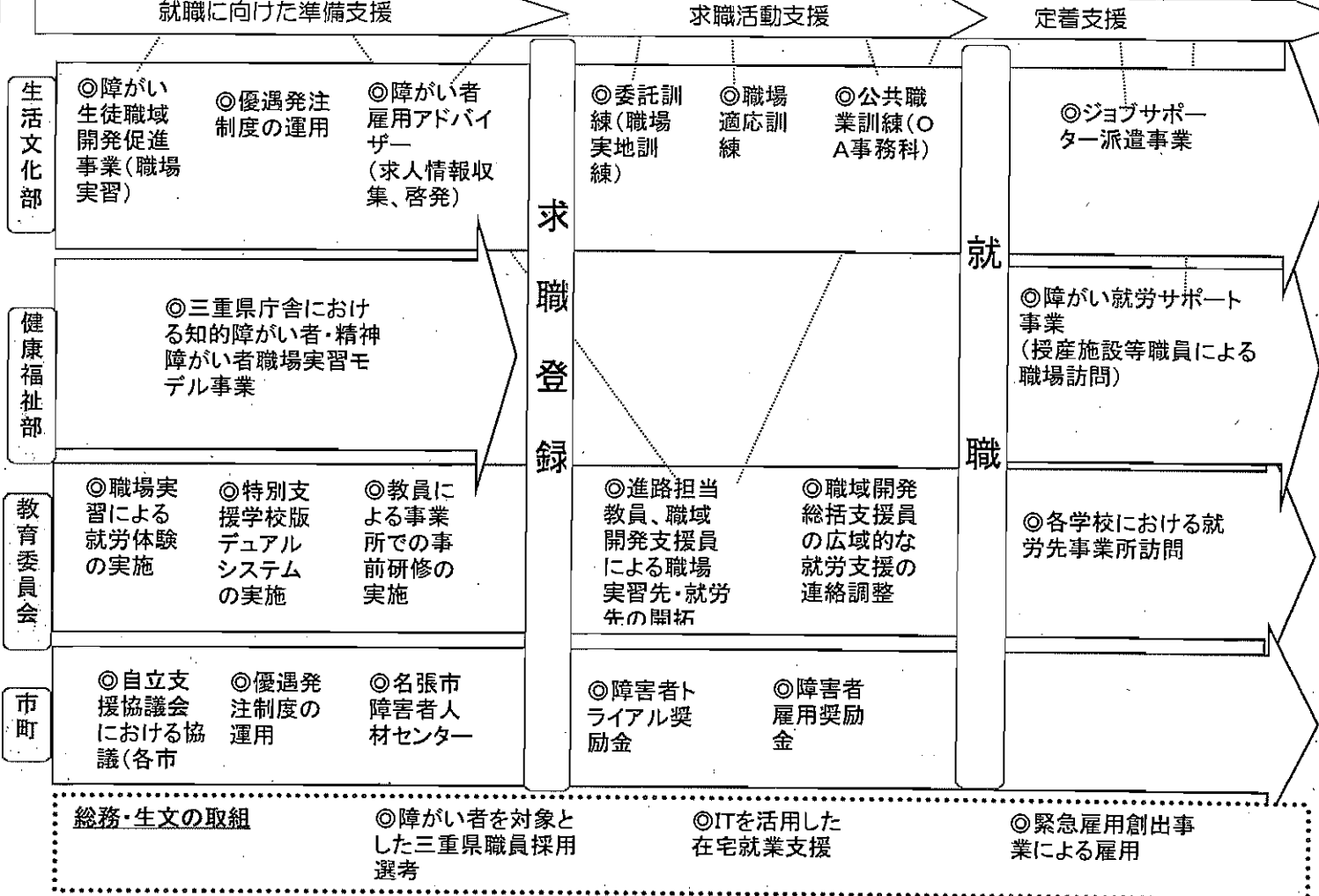
- 就労移行支援事業

税務署、税務事務所、市町

事業主への支援

- 障がい者を雇用する事業所に係る税制上の優遇

各段階における県・市町の支援



3 平成22年度障がい者雇用対策関係事業

事業名	事業概要	実績等
①障がい者雇用アドバイザーの配置	求人情報の収集、各種支援制度の啓発、相談及び助成金等に関する助言等を実施する「障がい者雇用アドバイザー」を2名配置。	H23.1末現在、訪問企業数267社、求人届出数36名、障がい者就職合同面接会参加23社
②障がい者雇用促進企業等からの物品等調達優遇制度の運用	障がい者雇用促進企業等（実雇用率1：8%（段階的に3：6%）以上の中小企業）、就労支援事業所等から、三重県が調達する物品・役務などについて優先的に契約する制度の運用と企業へのPRを実施する。	H21実績、611件、33,730,171円
③障がい者雇用優良事業所等知事表彰	障がい者を積極的に多数雇用する事業所等に対し知事表彰を行い、その努力を称えとともに、広く県民に周知する。	H22年度は、スーパーサンシを知事表彰
④ジョブサポーター派遣	地域で障がい者の就労を支援する「ジョブサポーター」を事業所等へ派遣することにより、障がい者の就労促進、職場定着を図る	H21実績、対象障がい者28人、のべ353回派遣
⑤障がい者委託訓練	障がい者が居住する地域において企業、社会福祉法人、NPO法人等の多様な委託先を活用した職業訓練を実施する。（100H/月を標準、訓練期間：3ヶ月以内）	H23.1末現在、受講者数51名
⑥職場適応訓練	職場に対する心理的不安を除き、訓練終了後に引き続き雇用されるよう技能の習得と適応性の向上を図るため、実際の職場での訓練を実施する。（170H/月を標準、訓練期間：1年以内又は6ヶ月以内）	H23.1末現在、受講者数1名
⑦公共職業訓練	県立津高等技術学校にOA事務科を設置し、身体障がい者を対象にOA機器操作及び会計事務を中心とした座学・訓練を実施する。（訓練期間：1年）	H23.1末現在、受講者数10名
⑧障がい生徒職域開発事業	特別支援学校等に在籍する生徒に対して、卒業後の職業選択がスムーズに行えるよう、実際の職場において1週間程度の実習を実施する。	H23.1末現在、受講者数176名
⑨IT活用障がい者在宅就業支援ふるさと雇用再生特別基金事業	事業主と障がい者との間の調整や支援を行う団体において、在宅ワーカー支援員の雇用を行い、障がい者の在宅就労支援に取り組む。	NPO法人に委託 雇用人数2名
⑩農業分野における障がい者地域人材育成事業	今後成長が期待される農業分野において、障がい者雇用の取組を進めるため、就業のためのノウハウや知識の習得を目指す障がい者の人材育成を行う。	4団体に委託 障がい者を20名雇用
⑪障がい者雇用モデル構築緊急雇用創出事業	障がい者雇用に取り組む企業等に対し、実際の就業を通して障がい者雇用を阻害している要因の把握と分析業務を委託し、障がい者雇用を促進するためのノウハウの取得する。	現在、事務局を選定し、事務局がモデル構築事業所を15事業所公募中。雇用予定人数は15名。
⑫障がい者就職面接会（三重労働局、ハローワークと共催）	就職を希望する障がい者の方々と事業主が一堂に会する「障がい者就職面接会」県内7ヶ所で開催する。	H22：7ヶ所で開催、事業所のべ144社、求人件数213件、障がい者のべ912人参加。

4 平成23年度の障がい者の雇用拡大に向けた取組

(1) 新規事業

平成23年度は全国的にも低位にある障がい者の雇用状況を改善するため、これまでの取組に加え、新規事業を4事業実施する予定です。

①就業のための身体障がい者地域人材育成事業（H23予算44,636千円）

企業等の即戦力となる人材を養成するため、未就職の身体障がい者を対象に、就業のために必要となる基礎的な知識や基本的な技術の修得とインターンシップを組み合わせた人材育成事業を実施し、身体障がい者の就職を支援します。

現在研修業務の委託先を公募中で、3月中旬に委託契約、4月から事業開始予定です。

予定研修者数 40人

②障がい者雇用モデル構築緊急雇用創出事業（H23予算36,993千円）

障がい者の就業現場での実情を把握し、今後の啓発、支援等に活用するため、民間企業等での実際の就業を通して、障がい者を雇用するうえでの課題やその対策等の事例を収集し、優良な雇用モデル構築のためのノウハウの取得を目指します。

障がい者雇用に関する法制度、助成制度に精通した事務局を選定しました。現在、モデル事業所を選定しており、3月中に新規雇用を開始します。

予定雇用者数 15人

③農業分野における障がい者ふるさと雇用再生事業（H23予算53,193千円）

今後、障がい者の就業先として有力である農業分野での雇用を拡大するため、農業で障がい者雇用に取り組んでいる企業等に対し、新規の障がい者の雇用を支援し、経営力のある事業者を育成することにより、障がい者の新たな雇用の場を提供します。

3月に委託先を選定し、4月から新規雇用を開始します。

予定雇用者数 20人

④障がい者チャレンジトレーニング事業（H23予算5,093千円）

障がい者が、多く（3か所以内）の事業所で短期間（1ヶ月以内）の実習を行い自らの適性を把握することにより、その後の就職へのアプローチがしやすくなるよう支援します。実習後、必要に応じて障がい者委託訓練に移行することにより、よりきめ細かい訓練受講が可能になります。

事業は、「障害者就業・生活支援センター」等へ委託して実施します。

予定受講者数 のべ60人

(2) 地域の実情に応じた体制の構築

今年度は、就労をはじめ障がい者の相談支援に関する課題を議論する障がい者総合相談支援センター代表者会議の下に、県健康福祉部、生活・文化部、教育委員会が連携し、労働局、三重障害者職業センター、および各福祉圏域の障害者就業・生活支援センターが参加する「就労部会」が設立され、各機関が連携して、県下全域の就労に関する課題の解決に取り組む体制が構築されました。この部会の成果を活用するため、平成23年度は、福祉圏域ごとに関係機関の連絡会議の取組を強化し、健康福祉部とともに地域の実情に応じた障がい者の就労支援体制の構築を目指します。